

交換留学報告書

派遣先	
三重大学での所属学部・研究科	工学研究科 機械工学
学年(出発時)	M2
大学名	タスマニア大学
国	オーストラリア
留学期間	2015年 8月 21日 ~ 2016年 6月 3日
派遣先での身分	交換留学生

一日の生活スケジュール(通学時)	
	記入欄
8:00	授業/研究室
9:00	授業/研究室
10:00	授業/研究室
11:00	授業/研究室
12:00	授業/研究室
13:00	昼食
14:00	図書館/研究室
15:00	図書館/研究室
16:00	図書館/研究室
17:00	図書館/部活
18:00	GYM/部活/友達と夕食
19:00	GYM/部活
20:00	図書館/部活
21:00	図書館/部活
22:00	帰宅
23:00	寝る
0:00	

研究内容	
研究課題	Experimental investigations of the geometrical parameter on cylindrical shell and tube latent heat thermal energy storage system
The main objective of this research is to study the effect of the geometrical parameter on vertical cylindrical shell and tube latent heat thermal energy storage (LHTES) systems. Four different shell to tube diameter ratios are considered with the phase change material (PCM) is in the shell side with the heat transfer fluid (HTF) passing through the tube side. The PCM temperature distributions are measured and compared experimentally. The results show that complete charging and discharging is highly dependent on the ratio of outer to the inside diameter.	
大学のサポート	
チューターの有無	あり
チューターのサポート内容	project の指導
語学コースの有無	あり
コース名、料金、期間等	English language course、5975ドル、15週間

生活	
住居のタイプ	sharehouse
住居の名前	54 regent street / 9 Unit, 14 Ashfield Street
部屋タイプ	洋室
ルームメイト(国籍)	中国人、 マレーシア人、 シンガポール人
室内設備	トイレ、シャワー、台所、料理の道具、洗濯機、ベット、デスク、タンス
共用施設	トイレ、シャワー、台所
インターネット設備	Wifi
大学までの交通手段(交通機関、所要時間)	歩く
アルバイトの有無	あり (一週間)
アルバイトの内容	Cherry Storing

渡航	
Visaの種類	NON-AWARD SECTOR (Subclass 575) visa
Visa申請先	Seoul, Korea
Visa取得にかかった日数	20days
Visa取得にかかった費用	10万円
Visa取得方法、提出書類等	http://www.border.gov.au/Trav/Visa-1/575-/Subclass-575-Document-checklist-Assessment-Level-3
留学先大学の最寄り空港までの経路	大阪関西空港—東京—Melbourne—Tasmania
渡航費用	7万
ピックアップサービスの有無	あり

帰国後	
留年や卒業の遅れの有無	なし
有る場合、その理由	
就職活動開始時期	Mar-16
帰国後の進路	日本で就職

留学にかかった費用	
現地通貨＝日本円(約)	1ドル＝84.09円
保険料(海外旅行保険、国民健康保険等)	about \$AUD 1268
学費(教科書代や語学コース授業料等)	about \$AUD 5975
宿舍費(月額)	\$AUD 115
光熱費(月額)	\$AUD 15
食費(月額)	\$AUD 90
その他	ネット \$AUD 5
留学期間中にかかった費用の合計	105万円

感想等(※800字以上で語学勉強の成果についての内容も含め、ご記入ください。)

光陰矢のごとし、オーストラリアのタスマニア大学での交換留学が終わりましたが、この経験は私が一生でも忘れないものです。

もともと英語と専門知識を勉強するために交換留学へ行った私は、思ったよりたくさん収穫を得ました。これから、勉強、活動、人文の面から感想を述べます。

まず、勉強についてです。交換留学の一年に、私はまずEnglish language centerで半年英語を勉強しました。その勉強は主に大学に入る学生に向け、レポートの書く方、発表のやり方、それに対するロジックなどです。大学授業の勉強に大変役に立ちました。特にレポートの書き方は以前学んできたアジアスタイルと違いますので、それに最も努力しました。週二回writingの練習を通じて、文書のロジック、繋がり、正確な言葉遣いなどの能力が向上しました。努力した結果、私は順調にELCから卒業しました。そして論文は高い評価を得られました。交換留学の後半はScience, Engineering & Technology学部に入りました。元々大学院の交換留学はないですが、事前に先生と連絡することで、太陽エネルギーを用いて潜熱材料の蓄熱システムについての研究ができ、機械工学の研究室にも入ることができました。これがきっかけで、タスマニア大学のFSEA電気自動車を設計するチームに入り、全世界で有名なFSE試合を携わることができました。今まで勉強してきた知識を活用できる実感は大変嬉しいのです。残念なことは本場の試合が2017年の11月に行うので、私は交換留学で3カ月しか参加できませんでした。このチームで初めて設計とSimulationを携わった私はみんなをドラッグする事を心配していたが、皆は「皆最初からやるよ」と私を励ました。皆は優しいですから、不安がなくやる気いっぱい頑張りました。

次は活動についてです。タスマニアの自然が多い特徴と合わせて、課外活動は自然と親しいことが多いです。保安林や自然公園や動物園への見学、bush walking、アウトドアジョギングなど自然での活動は大変面白いでした。オリエンテーションのボランティアもやりました。そして日本語セクションへ行き、中国語セクションを計画しました。これから中国語セクションを拡大することを期待しています。それから、中国の伝統的なダンスパフォーマンスを何回もやりました。意外に現地の人たちはアジアの文化にすごく興味を持っていることがわかりました。

最後人文についてです。一言でその人々を掲揚したら、「本当に優しい」と思います。その生活リズムはゆっくりで、イライラな感じがなく、いつでも楽しむ気持ちです。全体的に学校での勉強の中で、先生はただ指導の役割で存在しており、学生自分から勉強しようと強調し、学生との関係は友達のようなものです。ぐらい怠惰な学生さんでも、叱ることはあまりない、学生今の状況を分析し、追いつく方法を相談してくれます。いつでも学生を手伝う面から教えています。この教育方法で、積極的に勉強している学生たちの姿がよく見えます。楽の雰囲気、知識を身につく感じです。全体的にそのような多様性を尊重する社会で人々の間に壁がなく、自然にコミュニケーションできると感じました。

今後留学する人へのアドバイス

1、Hobartは小さい街ですが、英語を勉強するチャンスがいっぱいあり、積極的に見つければどこでも勉強できると思います。

2、生活費ならshare houseの方が安いですが、homestayは英語を練習できるし、食事も作ってくれます。しかし、homestayはfamilyによって違います。host familyは家にいる時間があまりない、食事はfast foodばかりの場合もあります。そして、Hobart でhost familyを選ぶことができません。

報告書記入日

2016年7月4日